

事業シート (概要説明書)

担当課名	企画振興課	予算事業名	北条砂丘公園センター管理事業			
担当係名	商工観光室	上位施策 事業名				
シート作成責任者	下阪 啓二					
事業開始年度	平成2年度	根拠法令	北栄町北条砂丘公園センターの設置及び管理に関する条例			
実施方法	直接実施 トイレ、希望の館、植栽の管理					
	業務委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)					
	補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:)					
	貸付 店舗(貸付先:(有)北条特販) その他()					
事業概要	目的 (何のために)	砂丘地農業の中心地である北栄町を特産農産物の販売によってPRすると共に、道の駅北条公園として北栄町の情報の発信を行なう。 また、スポーツを通して、町民等に憩いの場の提供によって世代間の交流を深めつつ、町民の健康増進とコミュニティ活動の推進すると共に、町内外の交流拠点とする。				
	対象 (誰・何を対象に)	利用者全般				
	事業内容 (手段、手法など)	店舗の管理運営については、民間業者が行なう。 希望の館、屋外トイレ、駐車場については企画振興課で管理を行なうが、希望の館のドアの鍵を店舗に預け、利用者にとって便宜を図っている。				
	事業の必要性	交通量が多い場所の町有地であり、さらなる有効利用も考えられが、現在のところ、道の駅大栄と比較して店舗利用者が少ないものの、北条オートキャンプと相まって、北条地区の玄関としての賑わいを創出している。 また、希望の館では、週3回ゲートボール愛好者が利用していると共に、屋内グラウンドでもあることから中部地区のゲートボール愛好者の集まる日本海リーグも年6回開催されるなど、交流拠点としても利用されている。 「道の駅」の名称については、国土交通省が登録するものであり、無償でさまざまな機会に紹介されるため、町のPR効果も高い。				
コスト	平成23年度		人件費			
	事業費	1,846 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	131 千円		担当正職員 6,600千円/人	131 千円	0.02 人
	総計	1,977 千円		臨時職員他 1,800千円/人	0 千円	0.0 人
事業費 (財源内訳・ 単位千円)	年度	総額 (人件費含まず)	実施方法が補助金の場合、 事業費の負担割合			
			財源内訳			
			特定財源		一般財源	
	H20(決算)	2,027			2,027	
	H21(決算)	1,314			1,314	
H22(決算)	1,669			1,669		
H23(予算)	1,846			1,846		

事業シート（概要説明書）

担当課名	企画振興課	予算事業名	北条砂丘公園センター管理事業																						
担当係名	商工観光室	上位施策 事業名																							
シート作成責任者	下阪 啓二																								
平成23年度 事業費内訳	需用費 消耗品費 150千円 光熱水費 504千円 修繕費 25千円 委託料 1,167千円																								
平成23年度 事業目標	1 道の駅利用者への清潔な施設の提供 2 経費節減																								
過去3年度の 事業実績	活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度																				
	道の駅北条公園内の店舗利用者	人	78,130	58,553	48,271																				
	希望の館利用状況	人	2,255	1,808	2,415																				
	店舗使用料収入	円	1,131,000	1,430,000	1,430,000																				
	希望の館使用料収入	円	19,400	13,800	84,340																				
過去事業の 自己評価	店舗を借り受けている業者に管理委託しトイレの清掃を行っていたが、清掃が行き届いていなかった ので、平成20年度以降、他の施設同様に町が直接清掃業者に委託することにした。結果、古い施設で ありながらも清掃の行き届いたトイレとなり、道の駅利用者からきれいになったと評価をいただいた。 また、平成20年度以降、需用費のうち修繕費について55千円約70%を削減、委託料のうち植木の管 理委託料について90千円約30%を削減するなどして経費節減を図った。 さらに、平成19年度までは1年間の使用申請に対する許可として貸し付けていたが、平成20年度 以降、他の施設同様に賃貸契約としたほか、賃貸料を600千円約75%増額した。																								
来年度以降の 予定・目標	1 道の駅利用者への清潔な施設の提供 2 経費の削減 国道9号の沿線であると共に、風力発電所やオートキャンプ場に隣接、さらに北条湯原道 路と国道9号の接続点に近く、潜在的には集客、物販の拠点として可能性のある地域であ る。一方で、企業の進出等、今後の民間投資も有望である。 当面、維持コストを最小に抑えながら、民間も含めて、この地域の開発を行うことを検討 する中で、一部施設の見直し、移転、再整備等を行うことを考えていきたい。																								
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)	道の駅大栄の店舗利用者	平成20年度	408,460人																						
		平成21年度	400,427人																						
		平成22年度	401,499人																						
特記事項 (事業の沿革等)	(事業の沿革) 現在の店舗部分は平成2年7月のオープン以来、民間の北条町特産物販売組合が運営して いたが、その後(有)北条特販に経営が移り、現在では「ねばりっ娘」等の店名で経営を行 なっている。屋外トイレの設置も平成2年である。 希望の館については、平成3年1月にゲートボールコートとして整備されオープンした もので、条例上「屋内体育福祉施設」と規定されている。 (施設の概要) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>町有建物</th> <th>借受者増築部分</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティフロア</td> <td>200.38㎡</td> <td>16.85㎡</td> <td>217.23㎡</td> </tr> <tr> <td>屋根付特産物直売施設</td> <td>47.00㎡</td> <td>285.22㎡</td> <td>332.22㎡</td> </tr> <tr> <td>トイレ</td> <td>55.00㎡</td> <td>-</td> <td>55.00㎡</td> </tr> <tr> <td>希望の館</td> <td>660.00㎡</td> <td>-</td> <td>660.00㎡</td> </tr> </tbody> </table>						町有建物	借受者増築部分	計	コミュニティフロア	200.38㎡	16.85㎡	217.23㎡	屋根付特産物直売施設	47.00㎡	285.22㎡	332.22㎡	トイレ	55.00㎡	-	55.00㎡	希望の館	660.00㎡	-	660.00㎡
	町有建物	借受者増築部分	計																						
コミュニティフロア	200.38㎡	16.85㎡	217.23㎡																						
屋根付特産物直売施設	47.00㎡	285.22㎡	332.22㎡																						
トイレ	55.00㎡	-	55.00㎡																						
希望の館	660.00㎡	-	660.00㎡																						